

ハイフレックス授業実施ガイド (入門編) - 後編

ハイフレックス授業の導入の概要について

文京学院大学
情報教育研究センター
ふじみ野キャンパス

ハイフレックス授業実施ガイド(入門編)

分散教室の運用

分散教室を使用した分散授業を展開するにあたって必要な機材の概要を説明します。

03

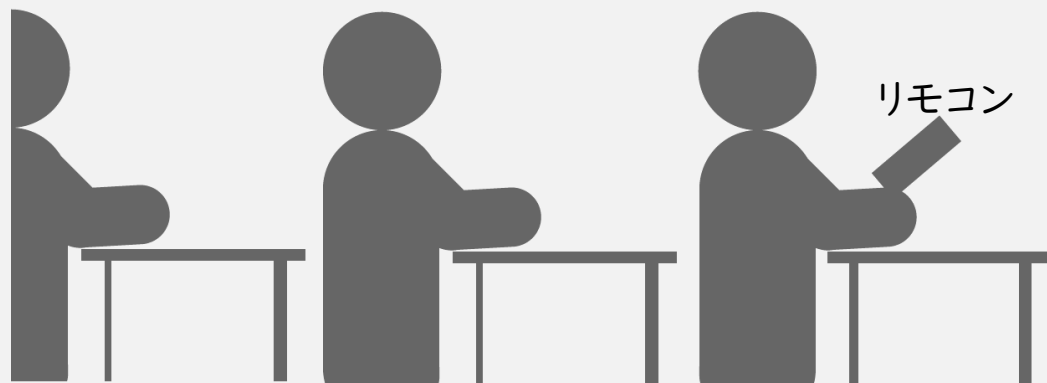
ポイント:

授業設定時・授業受講時の操作方法について確認をお願いします。

分散型授業：教室分散の運用

分散教室側は教職員の配置はなし
入室した学生が「リモコン」で「着信」ボタンを押す
終わったらリモコンで 프로젝タを消してもらおう

アプライアンスの撮影した教室風景・音声は
授業実施教室にも送出されるため、状況の確認が可能。



実際の設置例（コンピュータ教室の例）



コンピュータ教室での例

教卓側の位置が低いため、テーブル上に簡単な三脚を設置してアプライアンス配置。

到着した学生は

1. AV卓でプロジェクタ電源投入
2. リモコンで会議接続を行う必要あり。

また終了時には、逆の手順で言々を切ってもらう必要あり。

<基本的に常設>

アプライアンスで撮影した画角

アプライアンスの撮影画像



教卓から見た教室風景



比較的広角で
人間の視野角と大差ない

教室分散を使用する場合

予定を設定する際に
「場所を追加」の場所に
「分散する教室」を設定する。

指定した時間になると
Teamsアプライアンスに
会議表示（予約者名）が表示される。

※ 予約するのが直前すぎるとうまくいかないことがある。

※ 十分に時間的余裕をもって予約してください。



実際の設置例（授業時間になった場合）

通常時の表示



授業が入っている場合の表示

